学校番号	１１５

平成 31 年度　地歴科

教科	地歴	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年	２年
類型等	選択必修						
使用教科書	「新地理Ａ」（帝国書院）・「新詳高等地図」（帝国書院）						
副教材等	新詳地理資料（帝国書院）・サクシード地理（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

高校の地理は、地形・気候・産業や文化などを総合的にとらえ、考えていく力を身につけていきます。
世界の諸地域について単純に暗記するのではなく、地図帳、写真、地形図、図表などを利用しながら、規則性や関連性に着目し、そこにある理由、歴史的背景をふまえて、各地域の共通点や相違点を見いだすようにしましょう。多方面から物事をとらえる力は、生きる力にもつながります。
一番大事なことは、テレビや新聞などで地名が出てくれば地図帳にしるしをつけるなど、地図を見る習慣をつけることです。

2　学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め，それを意識的に追究するとともに，国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに，国際社会の変化を踏まえて公正に判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，画像など地域に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度	・定期考査 ・提出課題 ・授業態度
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	D		
1	地球上の位置と国家	1．地上の現象と地球上の位置 2．グローバル化が進む世界	○	○	○	○	a:地球上の位置と国家についての関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地上の現象と地球上の位置について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。国と国との結びつきの変化に伴う課題を見いだし、地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地上の現象や地球上の位置に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。国家間の結びつきの変化や現在世界の経済機構を表す地図や統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:地球上での位置や、緯度・経度の基本的なしくみを習得するとともに、それらに関する知識を身につけている。国家間の結びつきの変化や現代世界の経済機構、国連の役割について理解し、それらの知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度
1	人間生活を取り巻く環境	1．人々の生活と地形 2．人々の生活と気候 3．人々の生活と産業・文化	○	○	○	○	a:地形、気候、産業、文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地形、気候、産業、文化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地形、気候、産業、文化に関する地図や統計・画像など、それらに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:地形、気候、産業、文化についての基本的なことがらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度

2	世界の諸地域の生活・文化	1．中国の生活・文化 2．韓国の生活・文化 3．東南アジアの生活・文化 4．南アジアの生活・文化 5．中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6．サハラ以南のアフリカの生活・文化 7．ヨーロッパの生活・文化 8．ロシアの生活・文化 9．アングロアメリカの生活・文化 １０．　ラテンアメリカの生活・文化 １１．　オーストラリアの生活・文化	○	○	○	○	a:世界の諸地域の生活・文化に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:世界の諸地域の生活・文化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の諸地域の生活・文化に関する地図やグラフ、画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界の諸地域の生活・文化について、基本的なことがらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度
3	地球的課題と私たち	1．複雑にからみあう地球的課題 2．世界の環境問題 3．世界の資源・エネルギー問題 4．世界の人口問題 4．世界の食料問題 6．世界の都市・居住問題	○	○	○	○	a:地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b:地球的課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地球的課題のさまざまな結びつきを表す図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:複雑にからみあう地球的課題とその解決についての基本的なことがらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度
3	身近な地域の課題	1身近にあるさまざまな地図 2日本の自然環境と防災 3身近な地域の課題と地域調査	○	○	○	○	a: 身近な地域への関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b: 身近な地域の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景, 日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 身近な地域に関する諸資料を収集し、地域の課題について有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 身近な地域の課題と地域調査についての基本的な事がらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 提出課題 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。